



# ぐんま 幼児教育センターだより

## 第25号



群馬県総合教育センター 幼児教育センター 平成28年3月22日発行

### 平成28年度 幼児教育センターで行う研修

幼児教育センターでは、経験年数に応じて「幼稚園等新規採用教員研修」「3年目経験者研修」「5年経験者研修」「10年経験者研修」を、職務に応じて「新任幼稚園長等研修」「新任幼稚園教頭・主任等研修」を実施します。

また、希望者を対象にした以下のような研修講座や研修会も数多く開催しますので、是非、ご参加下さい。

#### 研修講座

会場：群馬県総合教育センター



##### 気になる幼児の保育研修講座

##### 幼児教育研修講座

8月10日(水) 9:00~16:30

7月22日(金) 9:00~16:30

目的	発達障害の特徴や援助の在り方についての理解、事例を基にした協議等を通して、学級における気になる幼児に対する実践的な指導力の向上を図ります。
対象	幼稚園・認定こども園・小学校・特別支援学校の教員等・保育所保育士(100人)
内 容	
午前	<b>講義・演習「気になる幼児の理解と援助」</b> 群馬大学医学部附属病院 精神科神経科 医師 成田 秀幸 氏
午後	<b>協議「気になる幼児の保育上の課題」</b> 5～6名程度のグループで各自事例を持ち寄り、指導助言者を交えて協議をします。 ※気になる幼児についての事例をA4版一枚にまとめて10部持参してください。 <u>個人が特定できないように配慮願います。</u> ※事例の対象幼児が何歳児か、申込み時にご連絡ください。

目的	幼児の表現や自然との関わりに視点をあて、実践的指導の専門性を高めることで、幼児教育の充実を図ります。
対象	幼稚園・認定こども園・小学校・特別支援学校の教員等・保育所保育士(100人)
内 容	
午前	<b>講義・実習</b> <b>「幼児の造形遊びについて</b> <b>～幼児の表現の見取りや支援の工夫～」</b> 育英短期大学 准教授 渡辺 一洋 氏 ※見取りや支援が難しいと感じた幼児の作品(絵画や工作など)を1点持参してください。
午後	<b>講義・協議</b> <b>「幼児期における自然とのふれあいについて」</b> 育英短期大学 教授 金子 仁 氏 ※木の枝等を削ることができるクラフトナイフ(切り出しナイフ、小刀等)を持参して下さい。(カッターナイフ、くだものナイフは不可)

## これからの幼児教育を考える

**8月19日(金) 13:00~15:40**

対象 幼稚園、認定こども園、保育所等の関係者、  
一般県民（300人）

目的	今後の小学校教育に求められることを知るとともに、遊びを通した幼児教育の重要性と必要性について再認識し、小学校教育とのなめらかな接続について考え、今後の指導力の向上を図ります。	内容
		講演「小学校教育を見通した幼児教育」 聖徳大学大学院 教授 篠原 孝子 氏



家庭教育充実のための地域で取り組む

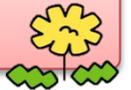
## 子育ての支援者研修会



目的	家庭教育の充実を目指し、地域で活躍する子育て支援者のスキルアップを図ります。	対象	幼稚園・保育所等の職員、 市町村の子育て支援担当者 県内の子育て支援団体関係者 等
<b>基本研修</b>			
開催日時	開催地	内容等	講師
6月6日(月) 13:30~16:30	群馬県総合教育センター (伊勢崎市)	「子育て支援の現状 と課題」 「保護者を支える 相談の在り方」	臨床心理士 安田 淑美 氏
<b>共通課題研修 テーマ：乳幼児期の食に関する課題と支援</b>			
開催日時	開催地	内容等	講師
9月21日(水) 13:30~16:30	館林市役所会議室	「偏食、少食、 食物アレルギーについて」  「食に関する自園の 課題解決に向けて」	育英短期大学 教授 星野 利子 氏
9月28日(水) 13:30~16:30	渋川市役所会議室		各地域の保健師
10月5日(水) 13:30~16:30	群馬県総合教育センター (伊勢崎市)		
10月12日(水) 13:30~16:30	高崎市市民活動センター ソシアス 活動ルーム1		
<b>実技研修</b>			
開催日時	開催地	内容等	講師
11月16日(水) 13:30~16:30	群馬県総合教育センター (伊勢崎市)	「親子でできる 運動遊び・リズム遊び」	チャイルドハウスゆうゆう 施設長 今井 寿美枝 氏



# 夕やけ保育研修会



目的	国公立私立幼稚園・認定こども園・保育所等の教職員等を対象として、幼児教育をめぐる課題解決のための研修会を行い、幼児教育の充実を図る。	対象	保育所保育士 幼稚園・認定こども園等教職員 小学校・特別支援学校の教職員等
----	--	----	---

## 共通テーマ研修会 「乳幼児期に必要な運動遊び」(H27継続)

開催日時	開催地	内容等	講師
6月24日(金) 15:00～17:00	吉岡町 社会体育館多目的ホール	講義「群馬県における幼児期の運動遊びに関する現状と課題」 実技演習「乳幼児期に必要な運動遊び」	総合教育センター 指導主事  高崎健康福祉大学 講師 山西 加織 氏
8月23日(火) 15:00～17:00	東吾妻町 あづま農村環境改善センター		
10月14日(金) 15:00～17:00	高崎市吉井町 吉井体育館		

## 地域別研修会

開催日時	開催地	内容等	講師
5月16日(月) 15:30～17:30	玉村町役場大会議室	気になる幼児を 生活と遊びで支援する	群馬医療福祉大学 教授 北爪 浩美 氏
5月31日(火) 15:00～17:00	沼田市立川田小学校		
6月11日(土) 13:30～15:30	藤岡市総合学習 センター	気になる幼児を 生活と遊びで支援する	作業療法士 岩崎 清隆 氏
6月17日(金) 15:00～17:00	長野原町 山村開発センター	幼児の見取りと 保育の基本	明和学園短期大学 教授 横坂 好枝 氏
7月1日(金) 15:00～17:00	みなかみ町 にいほるこども園	身近な材料を使った 造形遊び	育英短期大学 准教授 渡辺 一洋 氏
7月8日(金) 15:00～17:00	桐生市勤労福祉会館		

## 特別講演会

開催日時	開催地	内容等	講師
12月26日(月) 14:00～16:00	群馬県総合教育センター (伊勢崎市)	幼児期における人との関わり の重要性 ～発達とコミュニケーション～	明治学院大学 教授 松永 あけみ 氏

## 子育ての支援者研修会・夕やけ保育研修会申込み方法



幼児教育センターへ電話またはFAX、メールでお申込みください。

電話：0270-26-9203 FAX：0270-26-9222

メールアドレス youji-edu@gsn.ed.jp

※ 申込用紙は、幼児教育センターweb ページよりダウンロードできます。

[http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page\\_id=74](http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=74)

# 特別研修員の研究の紹介



平成27年度総合教育センター特別研修員として研修された3名の幼稚園の先生方の研究を紹介します。紙面の都合で十分に紹介できませんが、詳しい報告書は群馬県総合教育センターweb ページにアップされますので、ご覧ください。



## 好奇心や探究心を育む環境の構成の工夫 ～友達と園庭にある自然物との関わりを通して～

西川 明美

幼児の好奇心や探究心を育むために、幼児自身が身近な自然物に興味・関心を持ち、自分なりに試したり確かめたりして、物の特性や物事の法則性に気付けるよう、ゲームをきっかけとして自然を取り入れて遊べる環境の構成をしました。また、友達と一緒に活動する中で自分とは異なる考えに接したり、友達の考えに刺激を受けたりして、知恵を出し合いながら、じっくり取り組めるような環境の構成を工夫しました。

身近な自然物に興味・関心を持つ  
きっかけとしてのゲーム



さいころコロコロゲーム  
「見つけたよ！」

ターゲットゲーム  
「なぜだろう？」

+

気付きや発見を生かした遊びを  
友達と楽しむ環境の構成

気付きや発見を  
生かして

- ・友達と一緒に関わりを持つ場の設定
- ・幼児の言動を認める援助
- ・遊びのイメージや目的を引き出す援助



→ 幼児の好奇心や探究心を育むことができた



## 互いに認め合い、人との関わりを楽しむ幼児の育成 ～異年齢の幼児と共に楽しみ、関わりが広がる遊びの工夫～

石井 薫

少人数であることから同年齢の幼児同士が刺激を受け合い遊ぶ経験が乏しい傾向にある5歳児が、互いを認め合い、人との関わりを楽しめるように、5歳児、4歳児が共に夢中になれる遊び、幼児が心動かされる体験を共有できる遊びを設定しました。そこで生まれた幼児同士の関わりを大切にして、友達と積極的に関わられるよう幼児同士をつなぐ援助をし、年長児としての自覚や自信を持ち、関わりを楽しめるように計画しました。

異年齢の幼児と共に楽しみ、  
関わりが広がる遊びの設定



小麦粉粘土遊び  
「こうやればできるよ」

忍者になって楽しもう  
「修行だから逆回りで走ろうよ」

+

幼児同士をつなぐ教師の援助

- ・それぞれの遊びを認め、友達の遊びに興味を持てるような言葉掛け
- ・幼児の思いを受け止め、幼児同士の思いをつなげるような言葉掛け



→ 互いに認め合い、人との関わりを楽しめるようになった



## 友達と思いや考えを伝え合い、互いに認め合う幼児の育成 ～幼児の思いや考えを“見える化”することを通して～

大淵 光規

言葉でのやり取りが苦手、相手の思いを理解するなど個人差があり仲間関係に影響がある幼児同士が、自分の思いや考えを言葉で伝え合えるようになるためのきっかけとして、幼児の思いや考えを図や絵に描いたり、気持ちをイラストで表したりするなどの援助を工夫しました。この思いや考えを“見える化”することを通して、互いに認め合う関係を作っていくようにしました。

### 思いや考えの「見える化」

自分の思いや考えを伝えるために



探検に行こう！～つばやきマップ～  
「ここに宝があることにしようよ」

+

友達の思いに気付けるようになるために



長椅子取りゲーム～きもちカード～  
「すぐ、にこにこなれなくていいよ」



→ 友達と思いや考えを伝え合い、互いに認め合うことができるようになった

